

## 【38用語】

兇徒（きょうと）…凶悪な犯罪をおかした者又はその集団、謀反を働く者

嘯集（しょうしゅう）…嘯聚に同じ。互いに呼び合つて集まること、又は呼

び集めること

屯集（とんしゅう）…集屯に同じ。多人数が集まること、たむろすること

賊状（ぞくじょう）…賊徒や暴徒の情況・内情

探察（たんさつ）…探して調べること、探索

警邏（けいら）…見廻つて警戒すること

偵知（ていち）…様子を探り知ること

引致（いんち）…引つ張つていくこと、連れて行くこと、連行すること

自訴（じそ）…自首すること、自ら自分の罪を訴え出ること

## 【38解説】

明治十五年（一八八二）以降、日本経済は松方正義大蔵卿のデフレ政策による物価の下落と増税によつて不景気におちいった。翌十六年には県内へもその波が押し寄せ、借金苦や増税にあえぐ負債農民が増加。借金の利下げや年賦の据え置きなどを要求する騒擾事件が各地で頻発した。こうした中で明治十七年五月、貧困に苦しむ妙義山麓の農村において上毛自由黨員と負債農民らが引き起こしたのが群馬事件である。

続く同年十一月には、埼玉県秩父地方で困窮する農民と地元の自由黨員が困民党を結成し、同地域を拠点に武装蜂起して高利貸しや警察・郡役所などを襲撃した秩父事件が起きている。その参加民衆の一部は、本県の神流川沿いに南甘楽郡から十石峠を越えて長野県佐久地方へも転進し、群馬側からも多胡・南甘楽郡を中心に三百名近くの農民が参加したという。本文書は、富岡警察署の巡査が警察本署へ報告した出張実践手続書であり、当時の緑埜郡から甘楽・多胡郡地域の動静や警備状況などがうかがえる。